①授業展開（２時間）

**太字は教材ツール**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動  ・期待する生徒の様子やことば | 指導上の留意点  ○教師の手立てや支援　☆評価  ・発達支援の観点からの配慮事項 |
| **➊ワークシート（人数分コピー）**  ○自分の消費における選択の基準を振り返る。  ○４つの昼食例から1つを選択し、理由とともに記入する。  ・味、値段、安全性など、自分にとっての価値判断で行っている。    ○班ごとに担当を決め、昼食例ごとに集まり、それぞ  　れの選択がどんな社会をつくっていくのかをまとめ  ていく。　　　　　　　　　　　　 　**➌キーワードカード生徒　　➍考えようシート（各担当人数分コピー）➎情報カード生徒**  ・リーダーを中心にして、私、社会、自然環境の３つの視点から食の選択の影響を考えていく。  ○班に戻り、お互いの学びを受け取り、相手に正確  　に伝え、ワークシートにまとめる。  ○まとめから、自分にとって良く、社会や自然環境へ  　の負担の少ない昼食の選択を考える。  ・どのように自分の手元にくるのかを考えて選ぶ。  ○ワークシートへ記入をし、自分の意識の変容を振り  　返る。  ・選択することが支援する一票になる。  ・安さだけではない商品選択の仕方があることを知  　る。  ○友人とワークシートの交換を行い、様々な考えを知  　り、学びを深める。  ・生活の違いを意識し、考えを深める。  ・自分の発言や行動が社会に影響を与えることに気づく。  ○本時の振り返りを行う。  ・消費が環境やよりよい社会の形成とつながっていることに気づく。 | ○黒板に資料を提示する。　　　　　　　　　➋**弁当カード**  ○自分と友人の意見に違いと共通点があることに気づ  　かせる発問をする。  　・ファストフードを楽しんでいる？  　・おいしさの次には安全性？値段？  ○本時の流れを説明し、本時の目標を黒板に示す。  食の選択から、よりよい現在と未来を考えよう。  ・・・私・社会・自然環境・・・消費者としての意識を高めよう！      ○自分の生活と「社会」「自然環境」とのつながりを考える８つのキーワードを示す。　　　➌**キーワードカード教師**  **➎情報カード教師**  ・プラス面とマイナス面と両方があることに気づかせる。  ・自分についての課題が社会、自然環境につながることに気づかせる。  ・比較、検討させることから社会の在り方を考えさせる。  ○よりよい現在と未来の考え方を示す。  ○私たちが日常的に行っている生活行動である「買い  　物」の基準を考えることで環境への負担を最小限に  　抑えながら、豊かな生活を楽しみ、公正な社会へと  　つなげることができることに気づかせる。  **➏まとめ用フリップ**  ・思いやりをもち、誰もが暮らしやすい社会を目指すことを提案する。  ☆消費が持つ影響力が理解できている。  （ワークシート）  ☆持続可能な消費の実践を目指している。  （ワークシート）  **➏まとめ用フリップ**  ○次時からの学習内容を説明する。 |